

学習内容報告書 フォーマット

学校名	新潟県岩船郡粟島浦村立粟島浦中学校
授業者	藤巻 えりか

1. 単元計画

1-1. 単元名

粟島元気プロジェクト
------------


1-2. 学年

1 学年
------

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）単元の概要単元設定の理由・ねらい育みたい資質や能力、態度

<p>【教科】総合的な学習の時間、保健体育</p> <p>【単元の概要と単元設定の理由】</p> <p>海洋に関わる体験ができる1学期に、養殖わかめの加工や大謀網漁等の体験学習を集中して行う。その体験に基づく課題追究学習を2学期に行う。海洋教育における4観点から課題を追究させるとともに、施設見学や異世代や他地域の方との交流を行うことで、深い学びの実現を図る。</p> <p>これらの学習を通して、ふるさと粟島の海とそこに生きる人から、将来にわたり海洋に関わろうとする生徒の育成をねらい、本単元を設定した。</p> <p>【育みたい資質や能力、態度】</p> <p>(1) 粟島の人々の生活を支え発展させてきた海の産業や資源等の特徴や課題を理解するとともに、海の環境を守り発展的に活用していくことができる。</p> <p>(2) 海のレジャーを楽しむとともに、海の自然、資源、環境等について課題追究学習をしたり発表したりすることができる。</p> <p>(3) 海洋に関わる体験学習等を通して、海の環境保全や持続的な利用等に進んで関わろうとすることができる。</p>
---

1-4. 単元の展開（全53時間）

時数	学習活動・主な内容	○教師の指導 ・ 主な評価 ※外部連携 ●使用教材等
6	<p>○養殖わかめの加工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の11月に巻いた養殖わかめを刈り取り、部位に分け包装する。</li> <li>・ めかぶ、茎わかめの真空パックを商品化する。</li> <li>・ わかめを乾燥小屋に吊るし、翌日はがし作業をする。</li> <li>・ 乾燥わかめの商品化をする。</li> <li>・ 産業の視点から、水産資源に恵まれていることに気づく。</li> </ul> 	<p>○事前学習、体験活動、地域の方との触れ合いを通して、養殖わかめに関する基礎的な知識を理解させる。また、生徒が書いた評価カード等を読み、以下の観点で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養殖わかめを無駄なく商品化するための加工等について、理解できたか。</li> <li>・ わかめの養殖方法等について理解できたか。</li> </ul> <p>※船を出してくださる漁師、加工場所である漁協、わかめを乾燥させる小屋の所有者と、体験活動の内容や留意点等について事前に打ち合わせを行う。</p>

<p>6</p>	<p>○健康ウォーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗島の自然を肌で感じながら島1周歩き、海岸や砂浜の違いを学ぶ。</li> <li>・島の東側、西側では水質や漂流物に違いがあるのか調べる。</li> </ul>   	<p>○海岸線だけでなく岩場や砂浜を歩くことで、地形や海岸線の形、漂着物等に対する興味・関心を高める。また、観察や事後の評価カードの内容から、以下の観点で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもって、地形等を観察したり写真撮影したりしていたか。</li> <li>・漂着物の様子を話していたり、写真撮影したりしていたか。</li> </ul> <p>※安全確保のため、村の社会教育委員や保護者から観察をしていただく。</p>
<p>3 本時</p>	<p>○伝統のある大謀網漁体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大謀網漁の仕組みや優れている点などについて理解する。</li> <li>・大謀網漁を体験する。</li> <li>・大謀網漁や漁師の仕事について質問する。</li> <li>・どのような魚が獲れるのか、実際に見て確かめる。</li> <li>・選別や加工の方法、出荷までの作業工程等について学ぶ。</li> <li>・産業の視点から、水産資源に恵まれていることに気づく。</li> </ul>    	<p>○伝統ある大謀網漁が長く続いていることや、その特徴等について理解させる。また、事前学習、体験活動、その後の総合学習のテーマ設定等を様子を見て、以下の観点から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁師へ質問内容は適切であったか。</li> <li>・事後の評価カードに大謀網漁の特徴等について書かれていたり、総合学習のテーマに大謀網漁の課題や発展等の記述があったりしたか。</li> <li>・評価カード等に、漁師の仕事に対する職業観、勤労観についての記載があったか。</li> </ul> <p>※大謀網漁を行う会社や加工場所である漁協と、事前に学習内容や留意点を打ち合わせる。また、生徒の質問をまとめて、事前にお渡ししておく。</p>

<p>12</p>	<p>○浜清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳授業で使う浜を自分たちで清掃する。</li> <li>・浜には、どのような漂流物があるのか調べる。</li> <li>・ビーチフラッグ等の砂浜での遊びの楽しさを体験する。</li> </ul> <p>○水泳授業、カヌー・サップ体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海で水泳授業を行い、自然の中で泳ぐことの楽しさや喜びを実感する。</li> <li>・長い距離を泳ぐのに適した泳法を身につける。</li> <li>・着衣泳法を行い、事故を想定した援助方法を身につける。</li> <li>・産業の視点から、マリンレジャーなど海を活用した観光業が盛んであることに気づく。</li> </ul> 	<p>○海で泳ぐことやマリンスポーツの楽しさや喜びを実感させるとともに、海難事故についても理解させ、着衣泳等の方法を身に付けさせる。また、実習を通して以下の観点から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海での水泳授業やカヌー・サップ等の体験に、意欲的に取り組むことができたか。</li> <li>・遠泳や着衣泳のコツや泳法を習得することができたか。</li> <li>・評価カード等に、マリンレジャー等の海の活用についての価値ある内容が書かれていたか。</li> </ul> <p>※村営の自然体験学校の講師と、生徒個々の泳力等について打合せを行う。</p>
<p>20</p>	<p>○粟島元気プロジェクト（課題設定学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業や観光業などの島の産業や海の環境に対する課題追究を行い学ぶ。</li> <li>・海に囲まれた島の産業で働く人と、海の活用について一緒に考え、課題等を発見する。</li> <li>・海と生きる粟島の未来を創るため課題追究を行う。</li> <li>・粟島の海を保全するためには、自分たちに何ができるかを考え、まとめる。</li> <li>・学んだ内容をまとめ、プレゼンテーションソフトを使って分かりやすく発表する。</li> </ul> 	<p>○1学期に行った体験学習に基づき、海洋教育の4観点から課題を設定させて追究させることで、将来にわたり海洋に関わろうとする意欲や態度を育む。また、振り返りや、学習プリント等への記述を見て、以下の観点で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の興味・関心に基づいて、自分で課題を立てられているか。</li> <li>・問題の解決や探究のために仮説を立て、情報を集め、整理・分析・検証することができたか。</li> <li>・伝える目的や相手に応じて情報をまとめることができたか。</li> </ul>
<p>4</p>	<p>○海洋教育施設見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県水産海洋研究所、新潟県水産振興協会に施設見学へ行き、藻場が漁場にとって重要な役割を果たしていることを知る。</li> <li>・藻場が衰退する等の粟島の海の現状と課題を捉える。</li> <li>・海の生態系について理解を深める。</li> </ul>	<p>○課題追究学習で個々が設定した課題に対して、専門的な見地からのお話を伺い、より深く学んだり新たな追究の視点に気付いたりさせる。また、生徒の学習状況の観察やプリント等への記入状況を見て、以下の観点から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの体験学習や総合学習から、粟島の海の活用や養殖等に</li> </ul>



についての質問をまとめることができたか。

- ・意欲的に施設を見学したり、積極的に質問したりしていたか。

- ・事後に課題追究学習の課題をよりよいものへと修正したり、より深く課題を追究したりしていたか。

- ・栗島の漁業発展に向けた、優れたアイデアや創造的な提案を発表していたか。

※施設の担当者との打ち合わせで、栗島の海について調査されていることに触れて説明していただくことをお願いし、生徒が栗島の海への関心を高められるようにする。

○わかめ巻き

- ・わかめがどのように成長していくのかを知る。
- ・4月のわかめ採りに向け、わかめ巻きを行う。その際、わかめの胞子をタコ糸に付けることや、タコ糸がほどけにくくなるロープへの結び方などを学ぶ。
- ・顕微鏡でわかめの胞子を観察する。



2

○事前学習、体験活動、地域の方との触れ合いを通して、養殖わかめに関する基礎的な知識を理解させるとともに、胞子を顕微鏡で観察させるなどして、海の恵みに感謝し環境保全の意識を高める。また、生徒の体験学習の観察や評価カードの記入内容を読み、以下の観点で評価する。

- ・積極的に作業を行ったり、顕微鏡での観察を行ったりしていたか。

- ・養殖わかめができるまでを理解したり、海の恵みに感謝したりする内容を書いているか。

※船を出してくださる漁師、加工場所である漁協、わかめを乾燥させる小屋の所有者と、体験活動の内容や留意点等について事前に打ち合わせを行う。

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- (1) 事前での調査から浮かんだ課題等を質問したり、大謀網漁体験をしたりして、栗島の伝統漁業である大謀網漁について理解を深めることができる。
- (2) 漁師や漁協で働く人々との交流や魚の仕分け等の体験を通して、望ましい勤労観、職業観を養うことができる。

### 2-3. 本時の展開

○主な学習活動 / ・反応	○教師の指導・支援 / ・評価の視点 (方法)
<p>○大謀網漁、漁師の仕事について漁師の方に質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁師としてのやりがいはなんですか。</li> <li>・大謀網漁はいつから始まったのですか。</li> <li>・どんな魚が獲れますか。</li> </ul> <p>○大謀網漁を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網を仕掛けてある場所まで船で向かい、網の引き上げ作業を見学する。</li> <li>・網にかかった魚をすくい上げる作業を間近で見る。</li> <li>・船上での作業の厳しさの一端を知るとともに漁業へのやりがいを感じる。</li> </ul> <p>○獲れた魚を選別する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸に戻り、引き揚げた魚の選別作業を行う。</li> <li>・箱詰め、出荷までの流れを見て学ぶ。</li> </ul> <p>○カワハギの皮を剥ぎ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントを教えていただくことで、簡単に皮を剥ぎ取れることを知り、驚く。</li> </ul> <p>○感想発表や学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだこと、感じたこと、これからは活かしたいことを漁師さんに伝える。</li> <li>・学校に戻り評価カードで振り返りを行う。</li> <li>・学校に戻り、振り返りを行う。</li> </ul>	<p>○伝統ある大謀網漁が長く続いていることや、その特徴等について理解させる。また、事前学習、体験活動、その後の総合学習のテーマ設定等の様子を見て、以下の観点から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁師へ質問内容は適切であったか。(ワークシート)</li> <li>・漁師の回答をワークシートにきちんと書いていたか。</li> <li>・前向きに見学したり、積極的に漁師と会話したりしようとしていたか。</li> <li>・魚の選別のポイントや水揚げされた魚の出荷までの工程を意欲的に見たり聞いたりしていたか。</li> <li>・積極的に魚の加工作業を行う様子が見られたか。</li> </ul> <p>・事後の評価カードに大謀網漁の特徴等について書かれていたり、総合学習のテーマに大謀網漁の課題や発展等の記述があったりしたか。</p> <p>・評価カード等に、漁師の仕事に対する職業観、勤労観についての記載があったか。</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

- ・ 粟島の伝統漁業である大謀網漁がどのようにして行われているのか理解することができた。
- ・ 漁師の方に質問することで、漁師の仕事についてのやりがいや、困難の一端を学ぶことができた。
- ・ 体験を通し、どんな魚が獲れ、出荷されるのかを目で見て触れて確かめることができた。
- ・ 大謀網漁体験での学びが、その後の新潟県水産海洋研究所の施設見学での「藻場」についての学びと深く結びつき、2学期の課題追究学習に生かすことができた。

### 4. 今後の課題 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

なぜ、大謀網漁が伝統となっているのか。その利点を、粟島の漁業との地理的・環境的な要因も含めて、追究できるような外部講師の指導・支援の在り方が課題となる。

学校所在地が離島である。課題追究のための施設訪問等にかかる輸送費・宿泊代等が高額となり、継続実施が難しい。オンラインによる遠隔授業の実施等、工夫が必要である。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。